

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

第56期 中間報告書 2020 4.1 ▶ 2020 9.30

56th

Change & Challenge for Smile

代表取締役社長 下條 治



株主の皆様、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。代表取締役社長の下條治です。

ここに当社第56期中間期（2020年4月1日から9月30日まで）の業績についてご報告いたします。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の影響による景気減速が続きました。5月下旬の緊急事態宣言解除後、経済活動は持ち直しに向かう動きが見られるものの、今後も先行き不透明な状況が続くと見込まれます。

このような状況下、当社グループの属する情報サービス業界におきましては、景気減速に伴いIT投資の抑制姿勢を打ち出す企業がある一方、労働環境の変化に伴う生産性向上のための自動化・省力化

ニーズや旧来の基幹システムの刷新需要があるなど、IT投資意欲が底堅い側面もあります。

自転車・駐輪場業界における国内の動向におきましては、緊急事態宣言発出に伴う外出自粛により駐輪場利用者数が減少するなど感染症の影響がありましたが、緊急事態宣言解除後は、駐輪場利用状況に回復の兆しが見えております。また、公共交通機関を利用する際に生じる人との接触を避けるため、代替手段として自転車利用を始めるなど、「新しい日常」の中で自転車の価値を見直す動きが高まっております。

当第2四半期連結累計期間のIT関連事業（システム開発事業、サポート&サービス事業）におきましては、2020年3月期に受注した開発案件等が堅調

に推移するとともに、既存顧客における新領域獲得も進んでおります。また、保守・運用案件では、人事、会計などの基幹業務を主に担っていることから、感染症の影響は少なく、これらの結果、前年同期比で増収増益となりました。

一方、パーキングシステム事業におきましては、緊急事態宣言解除後は、鉄道を利用する通勤・通学客数の回復や、営業を再開した商業施設の利用客数の回復に伴い、駐輪場稼働率は復調の兆しがあるものの、7月の記録的な長雨の影響もあり、前年同期比で大幅な減収減益となりました。

なお、雇用調整助成金等の営業外収益94百万円を計上しております。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、8,376百万円（前年同期比4.3%減）、営業損失102百万円（前年同期は営業利益325百万円）、経常損失1百万円（前年同期は経常利益343百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失12百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益230百万円）となりました。

当期中間配当につきましては、安定的な配当を維持するという当社の基本方針に基づき、一株当たり7円とすることにいたしました。

新たにスタートした中期経営計画「Vision 2023」の目標を達成するため、「Change & Challenge for Smile」のスローガンのもと、NCDグループ一丸となって邁進してまいります。引き続きご支援の程よろしく願いいたします。

Vision 2023

Medium-term
management plan

2023年3月期の財務目標

グループ連結

売上高 **200 億円**

営業利益 **12 億円**

営業利益率 **6.0 %**

ROE **15 %以上**

基本方針

**運用で獲得したノウハウを活かした
更なる付加価値創出**

バリュー

▶ **NCDバリューの追求と更なる進化**

ドメイン

▶ **NCDの特色を生かした
事業ドメインの一層の拡大**

体制

▶ **事業体制の強化**

▶ **グループフォーメーションの最適化**

詳細は下記よりご確認ください。

<https://www.ncd.co.jp/ir/management/plan/>



企業理念

NCDは、ユニークなソフトウェア技術により、明るい未来に貢献する。

- NCDは、顧客第一に徹し、最適なシステムとサービスの提供により、共存共栄をはかる。
- NCDは、社員の個性を尊重し、その資質を発揮させることにより、あたたかな企業文化を確立する。
- NCDは、社会に対し、時代の変化を先取りすることにより、調和のある世界に貢献する。

ビジョン ～NCDが目指す姿～

私たちNCDは1967年の設立以来、常にお客様の満足を第一に考え、最適なシステムときめ細かなサービスの提供に努めてきました。お客様のビジネス戦略を深く理解することに始まり、問題の発見から将来構想まで、コンサルティング、システム構築、運用管理を網羅する一貫したサービスを提供できる体制を整えています。

更に、私たちが長年培ってきたIT技術は、様々な分野での活用へと発展しています。その一例として、私たちは駐輪場の新たな事業モデルを生み出し、今や、街の環境問題を解決するソリューションとして、社会に定着しつつあります。

私たちは引き続き、様々な分野でのIT活用の可能性を探究することにより、お客様、更には社会から常に必要とされる、価値ある企業であり続けることを目指します。

NCDグループ

NCDグループは、当社及び子会社6社で構成されており、システム開発事業、サポート＆サービス事業及びパーキングシステム事業を主として行っております。

ゼクシスは関西エリアを中心とするシステム開発・サポート＆サービスのIT関連事業、NCDテクノロジーはシステム開発・サポート＆サービスのIT関連事業、NCD Chinaは中国におけるシステム開発事業、East Ambitionはアジア諸国（韓国中心）の優秀なIT系人材を日本企業に斡旋する有料職業紹介事業、矢野産業は九州で駐輪場事業、NCDプロスは駐輪場管理・運営事業を行っております。

詳細はこちらからご確認ください。
<https://www.ncd.co.jp/ir/3min/>



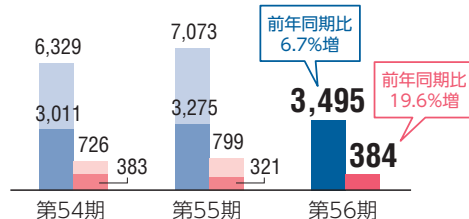
システム開発事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー、NCD China (*)

売上高／営業利益

(単位：百万円)

売上高 ■ 第2四半期 ■ 通期
営業利益 ■ 第2四半期 ■ 通期



主要なサービス

- ・システムコンサルティング
- ・アプリケーションシステムの設計・構築
- ・システムインフラの設計・構築
- ・パッケージ導入・構築支援

リモート環境整備に以前から取り組んでいたため、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の影響が軽微であることに加え、大手顧客のIT投資再開などにより新規案件獲得が堅調に推移していることから、前年同期比で増収増益となりました。

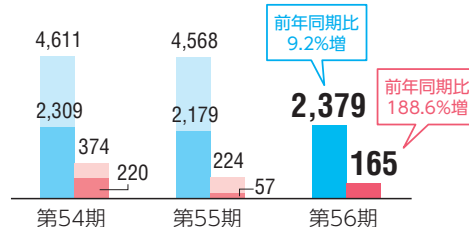
サポート＆サービス事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー

売上高／営業利益

(単位：百万円)

売上高 ■ 第2四半期 ■ 通期
営業利益 ■ 第2四半期 ■ 通期



主要なサービス

- ・アウトソーシングサービス
- ・ヘルプデスクサービス
- ・テクニカルサポートサービス
- ・システムインフラの保守・運用

リモート環境にて顧客企業のシステム運用、業務サポートを行う体制が大半であるため、感染症の影響が軽微であることに加え、大型案件の継続受注や既存顧客で培ったノウハウを活かした同業他社での新規の案件獲得などが寄与し、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、進捗、採算管理の徹底が奏功し、前年同期比で大幅な増益となりました。

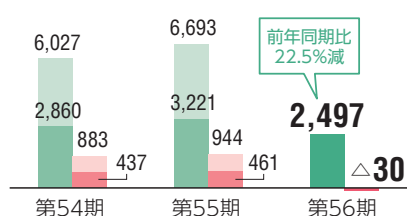
パーキングシステム事業

NCD、NCDプロス、矢野産業

売上高／営業利益

(単位：百万円)

売上高 ■ 第2四半期 ■ 通期
営業利益 ■ 第2四半期 ■ 通期



主要なサービス

- ・駐輪場の設営・運営・管理受託
- ・自転車管理システムの販売及び運営
- ・時間貸し自転車（コミュニティサイクル）運営
- ・自転車関連の総合コンサルティング

都市再開発に付随する駐輪場案件の獲得は順調に推移しましたが、駅や商業施設に併設する駐輪場開設の一部中止や延期、外出自粛要請に伴う稼働率の低下により、前年同期比で減収となりました。利益面におきましては、集金及びメンテナンス回数の最適化や外部委託業務の内製化の推進による固定費の削減、不採算駐輪場の利益改善策の実施などにより営業利益の減少幅を抑制したものの、営業損失となりました。

(*) NCD China は「天津恩馳徳徳信息系统開発有限公司」の英語表記です。

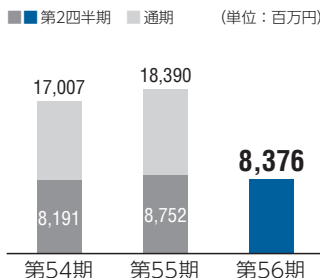
連結業績

売上高

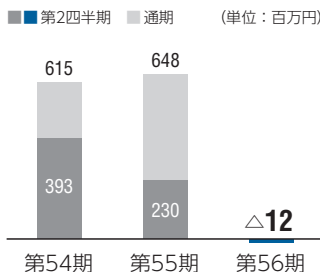
83億76百万円

前年同期比

4.3%減

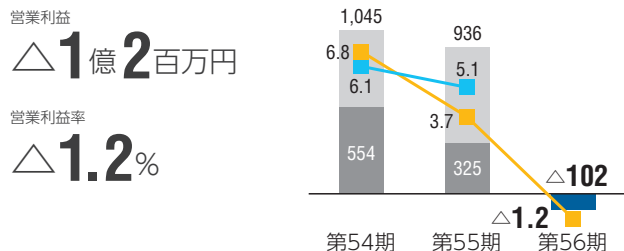
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益
又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)

△12百万円



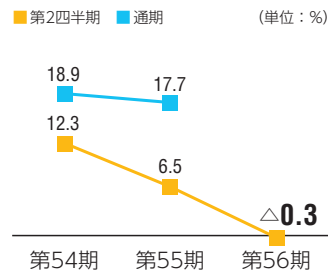
営業利益又は営業損失(△)／営業利益率

営業利益 ■ 第2四半期 ■ 通期 営業利益率 ■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円) (単位: %)



ROE(自己資本利益率)

△0.3%



株主還元

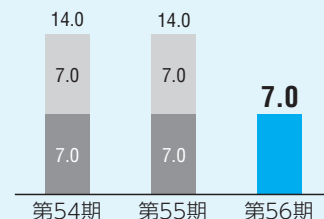
企業体質の強化と積極的な事業展開に備えて内部留保に努めるとともに、配当性向や配当利回りなどを総合的に判断し、安定的な配当を維持することを基本方針として実践しております。今後も、経営基盤の一層の強化と積極的な事業展開を継続しつつ、適切な利益還元を実施してまいります。

また、株主の皆様の日頃のご愛顧にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの皆様に当社の事業へのご理解とご支援をいただくことと、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的に、**株主優待制度**も取り入れております。

→ 裏表紙 **株主優待制度のご案内**

配当金の推移

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 円)



中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期末 (2020年9月30日現在)	前会計年度末 (2020年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	6,590,162	6,644,881
固定資産	4,475,112	4,972,854
有形固定資産	1,341,087	1,385,653
無形固定資産	139,706	112,509
投資その他の資産	2,994,317	3,474,691
資産合計	11,065,274	11,617,735
負債の部		
流動負債	4,113,676	4,311,427
固定負債	2,970,187	3,392,855
負債合計	7,083,863	7,704,282
純資産の部		
株主資本	3,956,328	3,924,897
その他の包括利益累計額	6,918	△28,342
非支配株主持分	18,163	16,897
純資産合計	3,981,410	3,913,452
負債純資産合計	11,065,274	11,617,735

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期累計期間 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
売上高	8,376,555	8,752,940
売上原価	7,302,515	7,300,456
売上総利益	1,074,039	1,452,483
販売費及び一般管理費	1,177,002	1,126,865
営業利益又は営業損失(△)	△102,962	325,618
営業外収益	114,946	33,293
営業外費用	13,417	15,441
経常利益又は経常損失(△)	△1,433	343,470
特別利益	12,288	—
特別損失	12,000	2,859
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△1,144	340,610
法人税等	9,918	107,479
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,063	233,131
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,265	2,188
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,329	230,943

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期累計期間 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	206,144	△182,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	156,199	△145,351
財務活動によるキャッシュ・フロー	316,907	△189,424
現金及び現金同等物に係る換算差額	△339	48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	678,911	△516,886
現金及び現金同等物の期首残高	2,420,599	2,579,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,099,511	2,063,009

財務諸表など決算情報は、ホームページで開示しています。 <https://www.ncd.co.jp/ir/>

長崎県五島市に「五島オフィス」開設、業務開始

人材有効活用意識の高まりや、業務効率化などの企業ニーズに応えるため、サポート&サービス事業の運用拠点として、五島市内に「五島オフィス」を開設。市内の新卒採用者4名の研修が無事終了し、7月から本格的に業務を開始。9月には五島市長・野口市太郎氏、福江商工会議所会頭・清瀧誠司氏が五島オフィスを内覧。今後も長崎県や五島市と連携し、当地域の雇用創出を図ることで、地方創生にも貢献。



コーポレートサイト リニューアル

株主・投資家の皆様のご意見をふまえ、より見やすく分かりやすいコーポレートサイトを目指し、全面リニューアルを実施。情報発信をより活発化。



2020

4

5

6

7

8

9

新モデル「Xplova NOZA S」販売開始

販売代理店契約を締結している台湾のAcer（エイサー）社の自転車用スマートトレーナー「Xplova NOZA S」を5月より販売。コロナ禍の巣ごもり需要を取り込み売上増加。



OBC Partner Award 2020 受賞

販売代理店契約を結んでいる、株式会社オービックビジネスコンサルタント（OBC）様より、2020年度の奉行シリーズの販売実績、ならびにその取り組みと活動において、“OBC Partner Award 2020”を受賞。

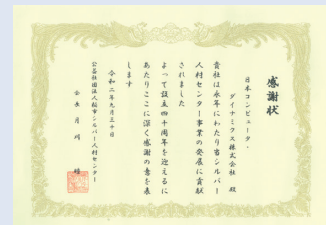


右：OBC代表取締役社長 和田 成史
左：当社代表取締役社長 下條 治

柏市シルバー人材センター感謝状 受領

駐輪事業を通して永年にわたり柏市シルバー人材センター様*に貢献したとして感謝状を受領。

※シルバー人材センター
高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに地域社会の活性化に貢献する組織



当社グループでは、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の拡大に伴い、従業員とその家族の健康と安全を確保し、可能な限り感染拡大を防止するため、お客様のご協力とご理解をいただきながら、様々な対策に取り組んでいます。

また、事業継続におけるリスクへの対応、株主・投資家の皆様への適時適切な情報公開に努めるとともに、事業活動を通じた社会貢献に積極的に取り組み、企業としての持続的な成長を目指してまいります。

従業員への取り組み

●テレワーク・時差出勤の積極的な推進

- ・感染症の発生以前から働き方改革の一環として取り組んでいたテレワーク・時差出勤の更なる活用を推進
- ・各種クラウドサービス（AmazonWorkSpaces/CiscoWebexCalling）の活用により、オフィスにいるのと変わらないセキュアな環境で業務を行える環境を整備し、人との接触機会を極力低減

●従業員の健康状態の管理、衛生対策の徹底

●対面形式の会議を制限し、オンライン会議へ切り替え

- ・各種コミュニケーションツール（Zoom/MicrosoftTeams）を活用
- ・採用面接や内定式・入社式、新入社員研修をフルリモートで対応

●国内外の出張やイベント等への参加を制限

従業員の声



テレワークや時差出勤を強く推奨してくれて、自分たち従業員の安全を一番に考えてくれている会社であることを改めて認識できた。

テレワークの利用によって、通勤による感染リスクが低減され、自分自身だけでなく家族の安全を守ることに繋がり、安心して仕事ができる。



子供の休校や登園自粛にも、テレワークによって仕事をしながら対応することができた。

事業における取り組み

●罹患者発生時の業務停止リスクの低減

- ・シフト勤務やBCP拠点である長崎営業所などの別拠点への業務分散により、罹患者が発生した場合の出勤制限による業務停止リスクを低減

●環境変化への対応

- ・テレワーク体制における進捗管理、品質管理の更なる高度化
- ・駐輪場の利用状況に応じた集金及び巡回頻度の最適化や外部に委託している定期メンテナンス業務の内製化などによる固定費の削減

●積極的な社会貢献

- ・当社が運営する自転車ショップSTYLE-Bにて自転車通勤応援キャンペーンを実施
- ・3密回避対策の一環として野菜宅配用自転車を旬八青果店へ提供

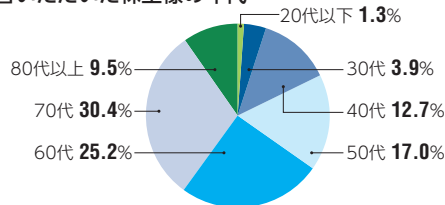


▲野菜宅配用自転車

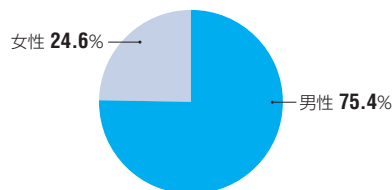
昨年度のアンケートにて、報告書の充実とホームページでの情報提供を求める声が多かったことを受け、報告書の内容見直しや、コーポレートサイトのリニューアルを実施しました。今後も、株主の皆様からの貴重なご意見・ご要望を企業活動に反映できるよう努めてまいります。

調査対象 …… 全株主3,686名
 調査方法 …… 決議通知に同封（2020年6月29日発送）
 調査期間 …… 2020年6月29日～7月28日
 ご回答数 …… 318名

●ご回答いただいた株主様の年代



●ご回答いただいた株主様の性別



株主様からのご意見・ご要望のご紹介

個人投資家向けの会社説明会に参加して株主になりました。駐輪場管理システムのビジネスモデルの将来性に注目しています。これからも定期的に説明会を開催してください。（20代男性）



これから脱炭素社会の実現に向けた取り組みがさらに推進され、自転車の利用や駐輪場の必要性が高まると思うので、貴社のさらなる活躍に大いに期待しています。（60代男性）

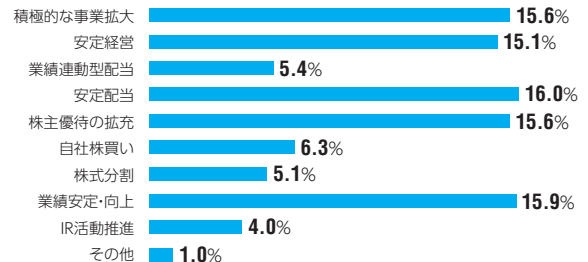


成長分野への積極的な投資やメディア等への積極的なIR活動など、企業名がもっと多くの投資家の目に留まるように頑張ってください。（50代男性）

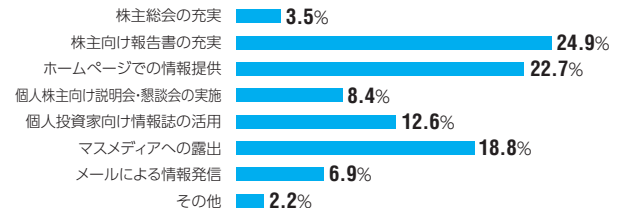


アンケート集計結果（一部）

Q 当社に期待すること(3つまで)



Q 今後のIR活動で充実を希望すること(複数可)



会社概要 (2020年9月30日現在)

商号	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社 Nippon Computer Dynamics Co., Ltd. (NCD)
設立年月日	1967 (昭和42) 年3月16日
資本金	438,750,000円
事業所	本社 (東京都品川区) お台場オフィス (東京都江東区) 江東サービスセンター (東京都江東区) 福岡営業所 (福岡県福岡市) 長崎営業所 (長崎県長崎市)
従業員の状況	NCDグループ 994名 NCD 644名 (注) 上記人数には、契約社員、パートタイマー、嘱託契約の従業員及び派遣社員を含みません。

連結子会社 (2020年9月30日現在)

株式会社ゼクシス	設立: 1969年3月	本店: 大阪市中央区	資本金: 96百万円	当社出資比率: 100%
NCDテクノロジー株式会社	設立: 2000年11月	本店: 東京都品川区	資本金: 40百万円	当社出資比率: 100%
天津恩馳徳徳信息系统開発有限公司 (NCD China)	設立: 2005年4月	本店: 中国天津市	資本金: 600千米ドル	当社出資比率: 100%
East Ambition株式会社	設立: 2017年2月	本店: 東京都品川区	資本金: 40百万円	当社出資比率: 100%
NCDプロス株式会社	設立: 2018年3月	本店: 東京都品川区	資本金: 30百万円	当社出資比率: 67%
矢野産業株式会社	設立: 1978年4月	本店: 福岡市博多区	資本金: 10百万円	当社出資比率: 100%

役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役社長	下條 治	社外取締役(監査等委員)	中山 かつお
取締役常務執行役員	上田 晋太郎	社外取締役(監査等委員)	奥野 滋
取締役執行役員	高木 洋	社外取締役(監査等委員)	圓角 健一
取締役執行役員	加藤 裕介	執行役員	田辺 信幸
社外取締役	宮田 晴雄	執行役員	中根 純一
社外取締役	安岡 正晃	執行役員	苅辺 勉
取締役(常勤監査等委員)	小林 勇記	執行役員	合田 友昭

株式の状況 (2020年9月30日現在)

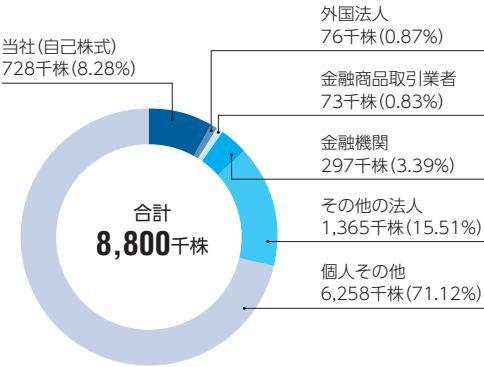
発行可能株式総数	14,000,000株
発行済株式の総数	8,071,068株 (自己株式728,932株を除く)
単元株式数	100株
株主数	4,070名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
光通信株式会社	658	8.16
NCD社員持株会	436	5.41
株式会社北斗	430	5.33
下條 武男	390	4.83
小黒 節子	280	3.47
寺内 吉孝	180	2.23
山田 正勝	172	2.13
下條 治	152	1.88
久本 正幸	117	1.46
平岡 憲一	110	1.36

(注) 1. 当社は自己株式 (728,932株) を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式数構成比



事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領 株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場市場	東京証券取引所 JASDAQ 市場 (証券コード4783)
公告の方法	電子公告により行います。
公告掲載URL	https://www.ncd.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、日 本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、以下の株主優待制度を実施しております。

対象となる株主様

毎年9月30日現在、当社株式1,000株以上保有いただいている株主様

贈呈時期

本冊子に同封して贈呈

株主優待制度の内容（贈呈品：クオカード）

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
1,000株以上 3,000株未満	2,000円分	3,000円分
3,000株以上 5,000株未満	3,000円分	5,000円分
5,000株以上	5,000円分	7,000円分

継続保有期間条件について

- ・年1回毎年9月末を基準日とし、同日付の当社株主名簿の記録により確認できる株主様を対象といたします。
- ・継続保有判定は、**半期ごと（毎年3月末および9月末）の当社株主名簿に、「同一の株主番号」で連続して7回以上記録された株主様を**、継続保有「3年以上」の対象といたします。
- ・「同一の株主番号」記録の連続性が中断された場合には、継続要件を満たさないものとして取り扱います。例えば、保有されていた当社株式の全部を一旦売却した後に、3月または9月の権利付き最終確定日までに株式を買い戻した場合などが該当します。

当社のウェブサイトでも財務データ、
企業情報などを開示しております。
ぜひご覧ください。

<https://www.ncd.co.jp>

NCD IR

検索

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田四丁目32番1号

TEL 03-5437-1021

▶ <https://www.ncd.co.jp/>



本報告書に関するお問合せ先 総務部 TEL 03-5437-1021